

# 人口の将来展望と 人口減少対策



第33回長崎県まちづくりの絵コンクール兼県政150周年記念絵画コンクール

**テーマ** 「みらいのまちって どんなまち」

**優秀賞** 西山台小学校 6年(受賞当時) 江上 歩太さん

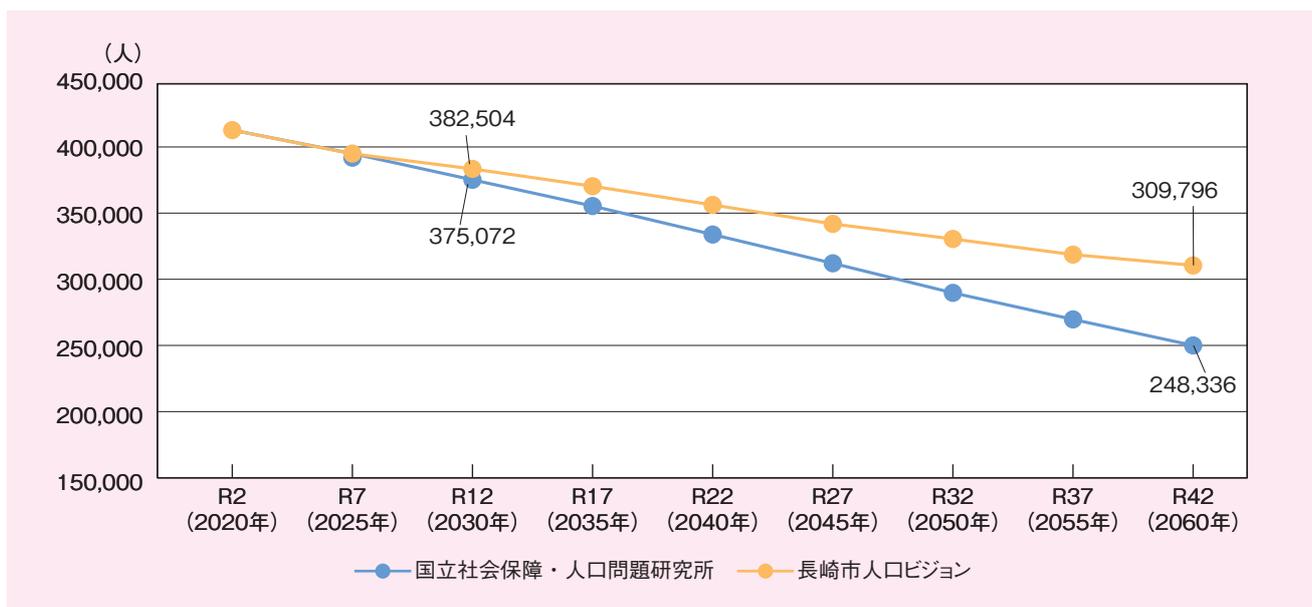
# 1 人口の将来展望

長崎市第五次総合計画の計画期間（令和4（2022）年度～令和12（2030）年度）においては、以下の人口展望に基づいて各施策を進めることとし、令和12（2030）年度末の人口を概ね38万人と想定します。

長崎市の人口は、昭和50年に50万6千人とピークに達し、昭和60年頃を境に減少に転じました。国立社会保障・人口問題研究所\*によると令和27（2045）年には31万1千人まで減少すると推計されています。

人口減少や人口構造の変化は、雇用や福祉、子育て、防災、教育、地域コミュニティ、税収など様々な分野で長崎市のまちづくりに重大な影響を与えることから、平成23年度から令和3年度までを計画期間とする第四次総合計画においても、市の重要課題と位置づけ、市民・企業・行政等の多様な主体が力を合わせて様々な施策に取り組んできたところですが、これまでのところ人口減少に歯止めをかけるには至っておらず、さらなる対策の強化が必要です。

現在、長崎市においては、自然動態に関して、合計特殊出生率を令和12年に1.80、令和22年には2.00にすること、社会動態に関して、現在の転出超過から、令和22年の均衡（±0）に向けた段階的改善を図ることにより、急激な人口減少に歯止めをかけ、令和42年においても約31万人の人口を確保することをめざしています。



資料：第2期長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

\* 国立社会保障・人口問題研究所

厚生労働省に所属する国立の研究機関であり、人口や世帯の動向を捉えるとともに、内外の社会保障政策や制度についての研究を行っている。

## 2 長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、総合計画で定める施策のうち、人口減少克服と地方創生に主眼を置いた施策の体系化を図るとともに、関連する施策を連携させながら、長崎市の実情を踏まえた将来の人口展望に基づく基本目標や方向性を示したうえで、長崎市の個性や強みを活かした具体的な戦略を定めたものです。

平成27年度に策定した第1期総合戦略では、少子化と若年層の転出超過に起因する長崎市の人口減少対策にあたって、「結婚や出産を望む市民の希望実現につながる環境をつくる」、「若者が長崎に定着できる環境をつくる」という視点のもとで様々な施策を推進してきました。

しかしながら、計画の最終年度である平成31年度においても、若い世代の転入者数の減少を主要因とする転出超過の拡大及び若い世代の減少に伴う出生数の減少により、人口減少に歯止めがかかっていない状況にありました。

そこで、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする第2期総合戦略においては、めざすべき姿として「若い世代に選ばれる魅力的なまち」を掲げ、その実現に向けて4つの目標を設定して施策の重点化を図り、人口の減り方を抑制する施策や人口が減っても暮らしやすいまちの実現に向けた施策、また、定住人口減少による消費縮小を補うため、交流人口を拡大する施策に引き続き取り組むこととしています。

### 第2期総合戦略

#### ～めざすべき姿と4つの目標～

#### めざすべき姿 若い世代に選ばれる魅力的なまち

**基本目標1 経済を強くし、新しいひとの流れをつくる**

**基本目標2 子どもをみんなで育てる 子育てしやすいまちをつくる**

**基本目標3 「まちの形」と「まちを支えるしくみ」をつくる**

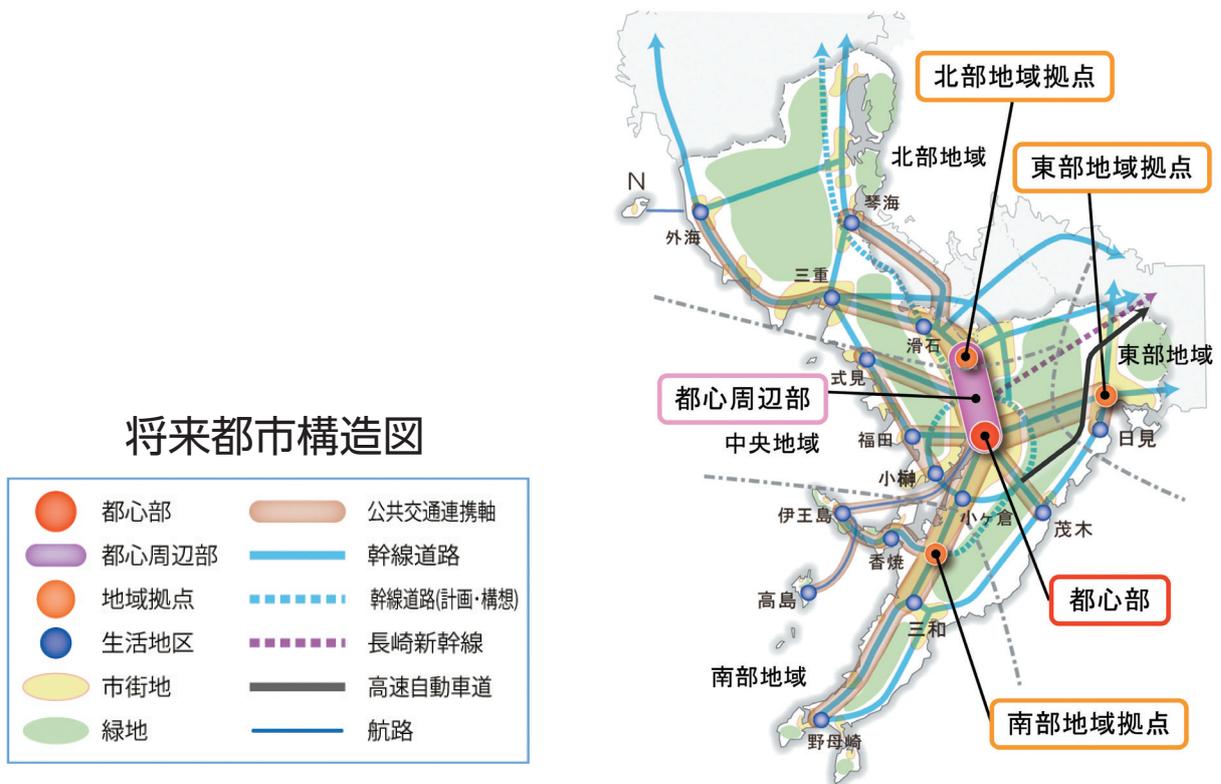
**特定目標 交流の産業化**

### 3 ネットワーク型コンパクトシティ長崎

少子化・高齢化などを背景として、人口減少が進行することで、病院や商店、公共交通サービスなど、暮らしに必要な施設や機能を確保していくことが困難となり、市民生活に重大な影響を及ぼすことが予測されます。

長崎市では、このような状況においても、それぞれの地域に合った暮らしやすさを整えていくため、都市や地域の暮らしに必要な施設が「コンパクト」に確保された拠点（「都心部」・「都心周辺部」・「地域拠点」）と周辺の生活地区が、公共交通や道路、情報などのネットワークで結ばれた「まちの形」として、長崎らしい集約連携型の将来都市構造『ネットワーク型コンパクトシティ長崎』の実現をめざしています。

#### ■『ネットワーク型コンパクトシティ長崎』（集約連携型の都市構造）のイメージ



#### 《期待される効果》

**コンパクト**

暮らしに必要な機能がある

**ネットワーク**

利便性の高い公共交通

**安全・安心**

安全・安心に暮らせる

**持続可能**

福祉サービスが利用しやすい

効率的に施設を改修・更新